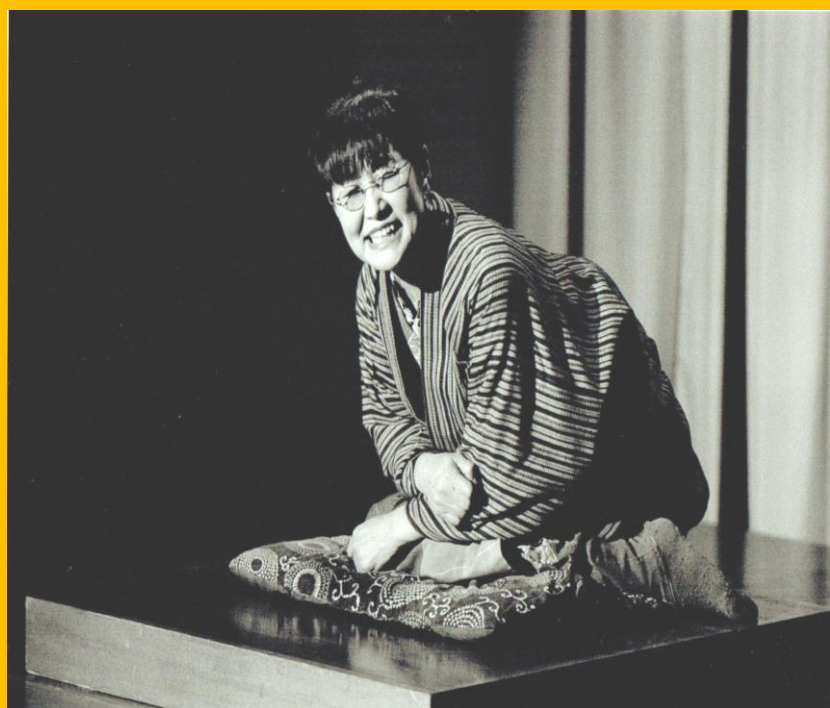


内 容

- 結純子<sup>ゆいじゅんこ</sup>さん ひとり芝居「地面の底がぬけたんです」より  
トーク「ハンセン病と私」
- 故小笠原登博士の診療を受けられた邑久光明園の入所者の取材記録



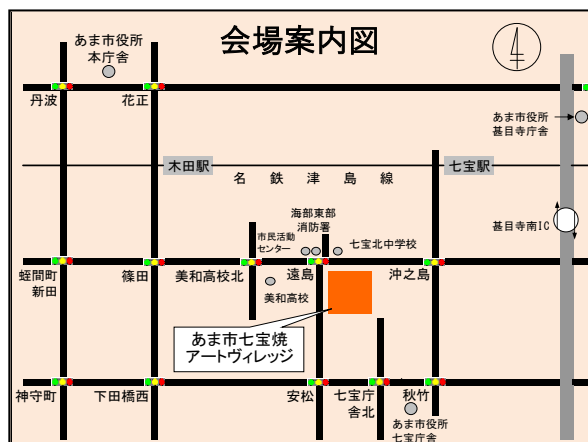
結純子さんプロフィール  
東京生まれ。早稲田大学教育学部卒。「劇団俳優小劇場」などを経て、1974年、愚安亭遊佐と「劇団ほかい人群」を結成。劇団解散後、自身が構成・演出し、主演を務めるひとり芝居を始める。2001年よりハンセン病患者の半生を描いた藤本としの「地面の底がぬけたんです」を日本各地で公演。このひとり芝居は新聞・テレビ等で大きく報道され、大好評を博した。これまで、北海道から沖縄まで112回公演している。この芝居で「久保医療文化賞」等を受賞。

【日 時】平成29年6月27日（火）

午後2時から午後4時まで  
（開場は午後1時30分）

【場 所】あま市七宝焼アートヴィレッジ 交流ホール  
あま市七宝町遠島十三割2000番地  
電話052-443-7588

【対 象】100名（どなたでも参加できます。）



主催：あま市企画財政部人権推進課

【問合せ先】

あま市企画財政部人権推進課 TEL052-444-0398(直通) FAX052-441-8330